



# 進路だより



令和6年9月2日発行

第2号

福島県立平支援学校 進路指導部

## 高等部 前期産業現場等における実習

高等部では、前期産業現場等における実習を、6月17日(月)～6月21日(金)まで行いました。2年生、3年生は校外で、1年生は校内で実習を行いました。実習を通して、自分の適性や課題に気付くことができた貴重な学習の場になりました。今回の経験を後期の実習や進路選択・決定に生かして行ってほしいと思います。

- 今回の実習先
- 企業 (株)ヨークベニマル谷川瀬店 多機能型重心児デイサービスどんぐり
  - 就労移行支援事業所 J's ONE 植田 アフレッシュいわき
  - 就労継続支援B型事業所 工房けやき
  - 生活介護事業所 天真庵 光の家 アライブ アルケン どリーむず ワークセンターさくら

### 企業 <(株)ヨークベニマル谷川瀬店>

プリーツレタスやキャベツを包丁で切る仕事をしました。意識したことは、コミュニケーションと笑顔で挨拶することです。メモを取る大切さを学びました。お客様の笑顔を考えて仕事に集中して取り組むことができました。一步踏み出して自分からコミュニケーションを積極的に取れたらよかったなと思いました。今後の学校生活では、相手のことを考えてコミュニケーションを取りたいと思いました。



高等部3年2組 矢吹 卓哉

### 就労移行支援事業所 <J's one 植田>

今回、私が実習で学んだことは2つあります。一つ目は、上司への言葉使いや社内ルールを講義で知ることができました。今後も自主的にビジネスマナーを勉強したいです。二つ目は、私に合った職業や資格があることを教えていただきました。自分にとって進路の可能性が広がり、進むべき道が明確になったように思います。今後も実習中に教えてもらったことを糧に進路実現に向けて努力を惜しまず勉強をしていきたいです。



高等部3年1組 西戸 陽翔

### 就労継続支援B型事業所 <工房けやき>

洗い物やお弁当の盛り付けをしました。自分から状況に応じたコミュニケーションを取ることを意識し、困っている時には自分からどうすれば良いか質問するようにしました。今後の学校生活では何か失敗したときに自分から相手に伝えたり、やり方が分からない場合は自分から質問したりすることを頑張ります。



高等部3年2組 矢吹 尚哉

### 生活介護事業所<アライブ>

じっしゅうでは、バリとりやクルミボタンづくりをやりました。こえのおおきさにきをつけることやことばづかいにちゅういすることをまなびました。クルミボタンがつくれてうれしかったです。



高等部2年2組 宮嶋 理磨

### <進路先から求められる力>～前期実習評価より～

- ☆生活介護事業所⇒自分の意思を伝える力, 集団への適応力, 場に応じて声量を調節する力 など
- ☆就労系事業所⇒体力, 自己発信する力 など
- ☆企業⇒体力, 集中力, 対応力 など

📍進路指導の手引きはお手元に届いていますか?本校 HP の進路指導のタブからも閲覧することができます。

ぜひ、ご一読ください。



こちらからも閲覧できます。↑

## 進路講話～卒業生の話～

講師は、平成20年度卒業の佐藤 湧太さん(株式会社 マルト好間店勤務)です。仕事内容や勤務の経歴などの話や、本校高等部での思い出や結婚前後での心境の変化、今後の夢なども話していただきました。

先輩の話聞くことで、卒業後の進路を考えたり、進路選択に役立てたりすることができるよう期待します。



### 【後輩へメッセージ】

「報告、連絡、相談の徹底の大切さ。」  
「大きな夢を達成するために小さな目標をもつことの大切さ。」  
「素直さ、発想力、学ぶ意欲が成長のカギ」

### 【仕事内容】

- 担当⇒果物部門 主任
- 内容⇒売り場の管理、パート従業員の勤怠管理  
果物の値札貼り、品質管理

### 【働いて嬉しかったこと】

- お客様にありがとうと言ってもらえたとき。

### 【働いて大変なこと】

- クレームへの対応  
⇒真摯に受け止めて誠心誠意の対応を心掛けている。

### 【生徒の感想】

- ・高等部でマルトに実習に行って、マルトで働きたいと思ったという話をきいて、僕もこれから実習に行くけど、「卒業してから行きたいか？」を考えながら実習したいと思いました。(高等部3年)
- ・成長するために必要なことは、「大きな夢をもつこと」「プラス思考をもつこと」が大事だとわかりました。貴重なお話をありがとうございました。(中学部3年)

## ～B型事業所利用にかかるアセスメントについて～

### Q:なぜアセスメントは必要なの？

A:働くことを希望する障がい者が、「働く場」(企業・A型・B型等)を適切に選択し、能力を最大限に発揮していけるよう就労面・生活面に関するアセスメントを行います。本人が自分の将来的な可能性や課題点を知り、目標をもって働くことができるよう各機関でサポートしていく上でも必要な情報となります。

### Q:どこがアセスメントをするの？

A:就労移行支援事業所で行います。いわき市には現在、8か所あります。

フルクテン(平)、ハートワークいわき(平上荒川)、ソーシャルスクエア上荒川店(平上荒川)、アフレッシュいわき(中央台飯野)、虹のかけはし(小名浜)、チャレンジメイト(小名浜)、ソーシャルスクエア内郷(内郷)、就労移行支援 J's one 植田

### Q:アセスメントはいつやるの？現場実習とは別なの？

A:事業所との調整で開催時期は決まりますが、高等部3年生で行います。実施期間は5日間。現場実習とは目的も違い、学校行事でもありません。アセスメントに関する手続きは各家庭で行うようになります。

アセスメント期間中は公欠扱いとなりますので、欠席にはなりません。

### Q:アセスメントを受けるために必要な手続きは？

A:①各地区保健福祉センターへの申請、②サービス等利用計画の作成が必要です。サービス等利用計画は計画相談事業所と契約して作成してもらうか、保護者が作成(セルフプラン)することも可能です。

### Q:放課後等デイサービスは利用できなくなるの？

A:就労アセスメント実習中、放課後等デイサービスを利用することはできません。